

# 世界的原油高騰の波が本町にも 設の燃料費増額補正される!!

(12月定例会)



(総合体育館)



(西当別コミュニティーセンター)



ゆとろ (総合保健福祉センター)

## 緊急に

## 福祉灯油支給事業可決される!!

平成十九年度第五回定例会は、十二月十二日～十四日までの三日間の日程で開催されました。  
一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、介護サービス事業特別会計補正予算、水道事業会計補正予算、当別町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定、当別町長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例制定、当別町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定、当別町土地開発公社定款の変更、人権擁護委員の候補者の推薦などを審議し、提案された議案すべてを原案のとおり可決しました。  
四名の議員が一般質問をしました。

## 一般会計 増額補正

平成十九年度当別町一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ一千三百九十五万二千円増額しこれを可決。総額九十億七千八百三十八万三千円としました。

歳入では、土地売却収入二百八十二万五千元、介護保険特別会計繰入金六百二十一万一千円、介護サービス事業特別会計繰入金二百三十万円、障害者福祉費清算金七百三十三万四千円などを増額補正、国庫負担金・更正医療給付費二百三十三万三千元、道負担金・更正医療給付費一百十六万七千元、道補助金・障害者自立支援対策推進費二百十七万五千元などを減額補正しました。  
歳出では、高齢者世帯や障がい児・者のいる世帯、ひとり親家庭世帯などを対象とする世帯に対

し、一世帯当たり一万円を支給する福祉灯油支給事業五百六十万円を補正し、過年度分町税還付金一千七百六十六万四千円、老人福祉施設措置費二百七十四万三千元、火葬場費修繕料二百三十六万六千元、区画整理登記業務委託外六百二十六万八千円、各施設の燃料費・暖房用七百四十九万七千円などを増額補正、重度心身障害者医療費五百万円、補助金・障害者自立支援対策推進費二百五十七万五千元、扶助費・更正医療給付費四百六十六万六千元、廃棄物処理等負担金七百六十九万七千円などを減額補正しました。

## 一般質問

一般質問は十二月十三日、十四日の二日間行われました。

洞内真由美議員、桐井信征議員、柏樹正議員、岡野喜代治議員の四名が登壇し、町政をたどりました。詳しくは五ページから八ページに掲載しています。

## 委員会報告

《総務文教厚生常任委員会》

□総務文教厚生常任委員会道内所管事務調査終了報告

《産業建設常任委員会》

□産業建設常任委員会道内所管事務調査終了報告

## 第一回臨時会

H20・1・23

第一回臨時会は、一月二十三日に開催され、議案一件(平成19年度当別町一般会計補正予算)が原案可決されました。

歳入では民生費国庫補助金六千万円が増額補正され、歳出では新たな共生型基盤整備事業先進的事業支援特例交付金六千万円を補正し、これを可決。総額九十一億三千八百三十八万三千円としました。

議員提案

議員提案第一号

□ 地方交付税の充実強化を図り地域間格差の解消を求める意見書の提出について

提出者・後藤 正洋  
全会一致で可決。

議員提案第二号

□ 「森林環境税(仮称)」の導入を求める要望意見書の提出について

提出者・後藤 正洋  
全会一致で可決。

議員提案第三号

□ 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について

提出者・後藤 正洋  
全会一致で可決。

議員提案第四号

□ 事業承継円滑化のための税制措置等に関する意見書の提出について

提出者・後藤 正洋  
全会一致で可決。

議員提案第五号

□ BSE全頭検査の継続を求める意見書の提出について

提出者・後藤 正洋  
全会一致で可決。

議員提案第六号

□ 日本の医療と国民の安心を守るための意見書の提出について

提出者・後藤 正洋  
全会一致で可決。

議員提案第七号

□ 沖縄戦に関する教科書検定の撤回を求める意見書の提出について

提出者・洞内真由美  
本議員提案に対して、後藤議員が反対討論を、

書の提出について

提出者・後藤 正洋  
全会一致で可決。

議員提案第八号

□ 医師不足を解消し、地域医療体制の立て直しを国にもとめる意見書の提出について

提出者・赤坂 正信  
全会一致で可決。

議員提案第九号

□ 後期高齢者医療制度の中止、撤回の意見書の提出を求める陳情書

陳情団体  
農民同盟当別支部  
支部長 堀 梅治  
全日本年金者組合  
当別支部  
支部長 井尻 昭彦

議員提案第十号

□ 最低保障年金制度の実現を求める陳情書

陳情団体  
全日本年金者組合  
当別支部  
支部長 井尻 昭彦

議員提案第十一号

□ 米政策・品目横断的経営安定対策に関する請願書

請願団体  
北石狩農業協同組合  
代表理事組合長 川原 博志  
株式会社辻野商店  
代表取締役社長 辻野 浩  
当別土地改良区

議員提案第十二号

□ 高年齢者の医療負担増をやめ、後期高齢者医療制度の抜本的な見直しを求める国への意見書に関する陳情書

陳情団体  
札幌地区労働組合総連合  
議長 赤坂 正信

柏樹議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成少数で議員提案は否決されました。

議員提案第十三号

□ 「医師不足を解消し、地域医療体制の立て直し」を国にもとめる意見書の提出について

提出者・赤坂 正信  
全会一致で可決。

議員提案第十四号

□ 後期高齢者医療制度の中止、撤回の意見書の提出を求める陳情書

陳情団体  
農民同盟当別支部  
支部長 堀 梅治  
全日本年金者組合  
当別支部  
支部長 井尻 昭彦

議員提案第十五号

□ 最低保障年金制度の実現を求める陳情書

陳情団体  
全日本年金者組合  
当別支部  
支部長 井尻 昭彦

議員提案第十六号

□ 米政策・品目横断的経営安定対策に関する請願書

請願団体  
北石狩農業協同組合  
代表理事組合長 川原 博志  
株式会社辻野商店  
代表取締役社長 辻野 浩  
当別土地改良区

議員提案第十七号

□ 高年齢者の医療負担増をやめ、後期高齢者医療制度の抜本的な見直しを求める国への意見書に関する陳情書

陳情団体  
札幌地区労働組合総連合  
議長 赤坂 正信

議員提案第十八号

□ 後期高齢者医療制度の中止、撤回の意見書の提出を求める陳情書

陳情団体  
農民同盟当別支部  
支部長 堀 梅治  
全日本年金者組合  
当別支部  
支部長 井尻 昭彦

故 元当別町議会議長 千葉莊康氏  
特旨叙位・旭日双光章を受章

平成19年9月26日に満66歳の若さで急逝された元当別町議会議長千葉莊康氏が特旨叙位および旭日双光章を受章されました。千葉氏は昭和46年に初当選され以来7期を当別町議会議員として、昭和58年には議長に就任し町政発展に寄与されました。永年の功績に敬意を表するとともに、故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



授与された勲章及び勲記

請願・陳情書  
審査付託の件

総務文教厚生  
常任委員会付託

一 番

□ 最低保障年金制度の実現を求める陳情書

陳情団体  
全日本年金者組合  
当別支部  
支部長 井尻 昭彦

二 番

□ 高年齢者の医療負担増をやめ、後期高齢者医療制度の抜本的な見直しを求める国への意見書に関する陳情書

陳情団体  
札幌地区労働組合総連合  
議長 赤坂 正信

三 番

□ 「医師不足を解消し、地域医療体制の立て直し」を国にもとめる意見書の提出について

提出者・赤坂 正信  
全会一致で可決。

理事長 山田 智  
理事 南部 重雄

中新土地改良区  
理事長 田畑富美男

当別町農民同盟  
委員長 堀 梅治

紹介議員  
市川 正・神林 俊一  
岡野喜代治・小早川孝男  
白杵 英男・稲村 勝俊

本定例会において陳情書四件、請願書一件が提出され、一番、二番、三番、五番は所管である総務文教厚生常任委員会に付託され、四番は農業政策の重大な局面をむかえており、本町の農業団体が一堂に会し、請願している状況下でもあり、本会議採択とされました。意見書等の取り扱いについては議長に一任され、十二月十八日～十九日の日程で出張し、関係機関、北海道選出国會議員等に意見書を提出しました。